

# 幹線輸送を“BOX 単位”でシェアする新モデル

## 東京一大阪幹線を 4,545 円から利用できる新サービス

### 「チョットボックス」パートナー募集開始

2026 年 3 月 30 日  
ラストワンマイル協同組合  
近畿配送サービス株式会社

ラストワンマイル協同組合（本部：東京都府中市、代表理事：志村直純）と近畿配送サービス株式会社（本社：大阪府八尾市、代表取締役：速水正明）は、幹線輸送を複数社で共同運行する新サービス「チョットボックス」を開始し、荷主企業および運送事業者を対象にパートナー募集を開始いたします。

本サービスは、従来 1 社が 1 台分のコストを負担していた幹線輸送を、カーゴ BOX 単位で利用できるようにした **幹線シェア型の新しい物流モデル** です。

東京一大阪間の幹線輸送を、**カーゴ BOX1 本あたり約 4,545 円**から利用できる価格水準で提供し、幹線輸送コストの大幅な削減と積載効率の向上を実現します。

#### 【背景】

ドライバー不足や燃料費の高騰、いわゆる 2024 年問題を契機に加速した物流コストの高騰に対し、幹線輸送の維持は物流業界全体の大きな課題となっています。

その一方で、実際の現場では

- ・ 1 台分の物量に満たない
- ・ 繁閑差により積載率が安定しない
- ・ 定期幹線に空きスペースがある

といった理由から、実際の輸送量に対して過大なコストを抱えているケースも少なくありません。

幹線輸送が「**1 台単位で費用が発生する構造**」そのものを見直す必要があるという現場の課題から、本サービスは生まれました。

### 【サービス概要】

「チョットボックス」は、幹線輸送を複数社で共同運行し、1台分の運行原価を物量比率に応じて分担する **幹線シェアリングモデル** です。

従来のように1社で1台を確保するのではなく、**“1台を複数社で共有する”**という発想により、

- ・ 幹線の固定コストを分割
- ・ 物量に応じた合理的な費用負担
- ・ 積載効率の向上

を実現します。

これは単なる混載輸送ではなく、2024年問題以降、常態化している配送網の維持困難を解決すべく **幹線運行そのものを共同化する仕組み**であり、物流の持続可能性（サステナビリティ）を確保すると同時に、幹線輸送のコスト構造を **固定費から変動費へ転換する新しい輸送モデル**です。

### 【料金イメージ（東京⇄大阪幹線）】

現在、幹線輸送における大型車両1台の運行コストは、人件費・燃料費・高速費などを含め、1日あたり約10万円強となるケースが一般的です。

「チョットボックス」では、大型車両にカーゴBOXを **最大22本搭載**できる設計とし、1台分の運行コストをBOX単位で按分することで、

**東京⇄大阪 幹線輸送** カーゴBOX1本あたり約4,545円～  
という低コストでの幹線利用を可能にします。

これにより

- ・ 1台分の物量がなくても幹線輸送を利用可能
- ・ 必要な分だけ幹線コストを負担
- ・ 幹線輸送費の大幅削減

を実現します。

## 【導入メリット】

### ■荷主企業様

- ・ 幹線を1台単位で確保する必要がない
- ・ 物量に応じたコスト負担
- ・ 幹線輸送コストの削減
- ・ 安定した輸送枠の確保

### ■運送事業者様

- ・ 積載効率の向上
- ・ 幹線原価の分散
- ・ 空きスペースの有効活用
- ・ 運行リスクの軽減

## 【募集対象】

- ・ 幹線1台分の物量に満たない荷主企業様
- ・ 定期幹線に空きスペースをお持ちの運送事業者様
- ・ 幹線輸送コストの見直しを検討している企業様

同業者様の参加も歓迎いたします。

## 【今後の展開】

今後は対象路線を順次拡大し、幹線輸送を共同インフラとして活用する物流ネットワークの構築を進めてまいります。

幹線輸送の効率化と持続可能な物流体制の実現に向け、より多くの企業が参加できる物流プラットフォームとして展開していく予定です。

## 【お問い合わせ先】

ラストワンマイル協同組合

TEL：042-319-9860

Email：press@lastonemile.org